

【セッションNo.1】

Delphi/400活用事例 ～戦略的な「生産計画」と「自動FAX送信」 システムの構築～

住商モンブラン株式会社
総務部IT企画課 課長
横田 昌宏 様

アジェンダ

1) 「生産計画システム」について

- ① システム導入前の概要
- ② 問題点
- ③ 要望
- ④ 問題点解決の方法
- ⑤ Delphi/400を開発ツールに選んだ理由
- ⑥ システムの特長と利点
- ⑦ システム化の効果

2) 「自動FAX送信システム」について

- ① システム導入前の概要
- ② 問題点
- ③ 要望
- ④ 問題点解決の方法
- ⑤ Delphi/400を開発ツールに選んだ理由
- ⑥ システム導入後の概要
- ⑦ システム化の効果

3) Delphi/400での開発ポイント

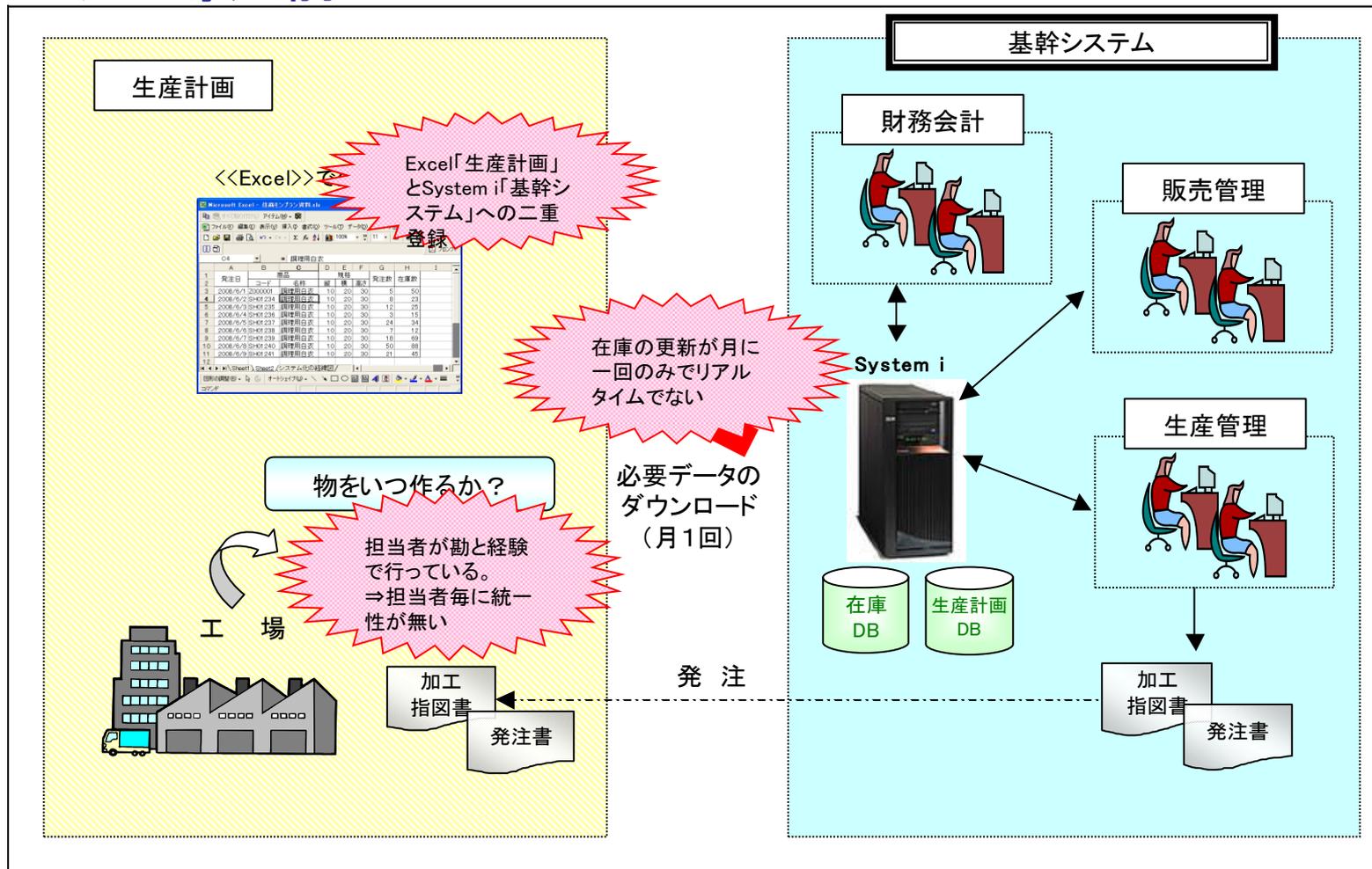
4) 今後の展望

1) 「生産計画システム」について

Delphi/400

Technical Seminar

① システム導入前



② 問題点

■ 状況変化に即対応できない

- 月1回の在庫データをダウンロード後、次回まで在庫数は更新されず、突然の大口案件で大量発注があっても、在庫数が正確でないため在庫切れを発生することがあった
- 計画入力には横スクロールが必要だが、5250での実現は難しいので System i のファイル1ヶ月分を1ファイル=1工場分でデータダウンロードをしていた
- 30箇所の工場である全ファイルの作成に2日間費やしていた

■ 計画立案が属人化

- 在庫切れの予測を行い備蓄生産していたが、計画は勘と経験に頼っていた

③ 生産計画担当者の要望 と 管理者の要望

■ 生産計画担当者の要望

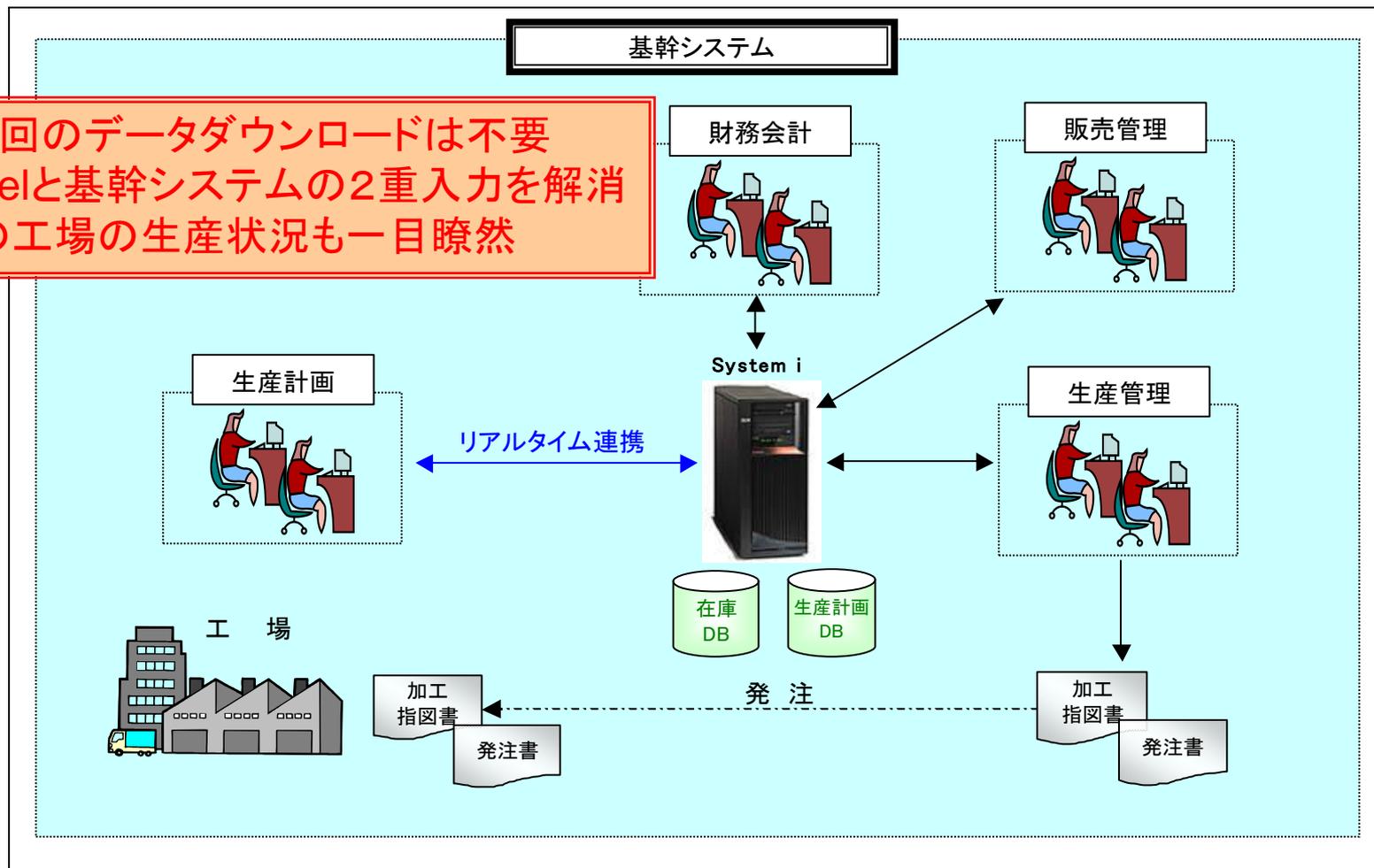
- リアルタイムなデータ連携を行いたい
- Excelのような[操作性]と集計等の[機能]は必須条件
- 5250画面の文字数を超える画面表示を行いたい
- 生産計画から加工指図書を一括発行したい

■ 管理者の要望

- リアルタイムなデータ連携を行いたい(予算と対比)
- 在庫金額推移予測から生産調整を行いたい
- 全工場の生産状況を一括で把握したい

④ 問題点解決の方法

- ・月1回のデータダウンロードは不要
- ・Excelと基幹システムの2重入力を解消
- ・他の工場の生産状況も一目瞭然



⑤ Delphi/400選択の理由

■ 必要要件

- リアルタイムに販売システムの情報を生産計画に反映させる
- Excelの操作性や集計機能は必須
- 生産稼動状況均衡のために、他工場の生産稼動状況を簡単に確認したい
- 管理者が全工場の稼動状況を一目で把握できる仕組み

■ Delphi/400での実現

- データベースとリアルタイムな連携
- データ抽出・更新はRPG、画面まわりはDelphiで開発、と分担
- 2画面の切り替え表示、即時集計など表現力アップ
- 縦横のスクロール画面

⑥ システムの特長と利点

アプリケーション
実行画面は前方の
スライドをご覧ください

⑦ システム化の効果

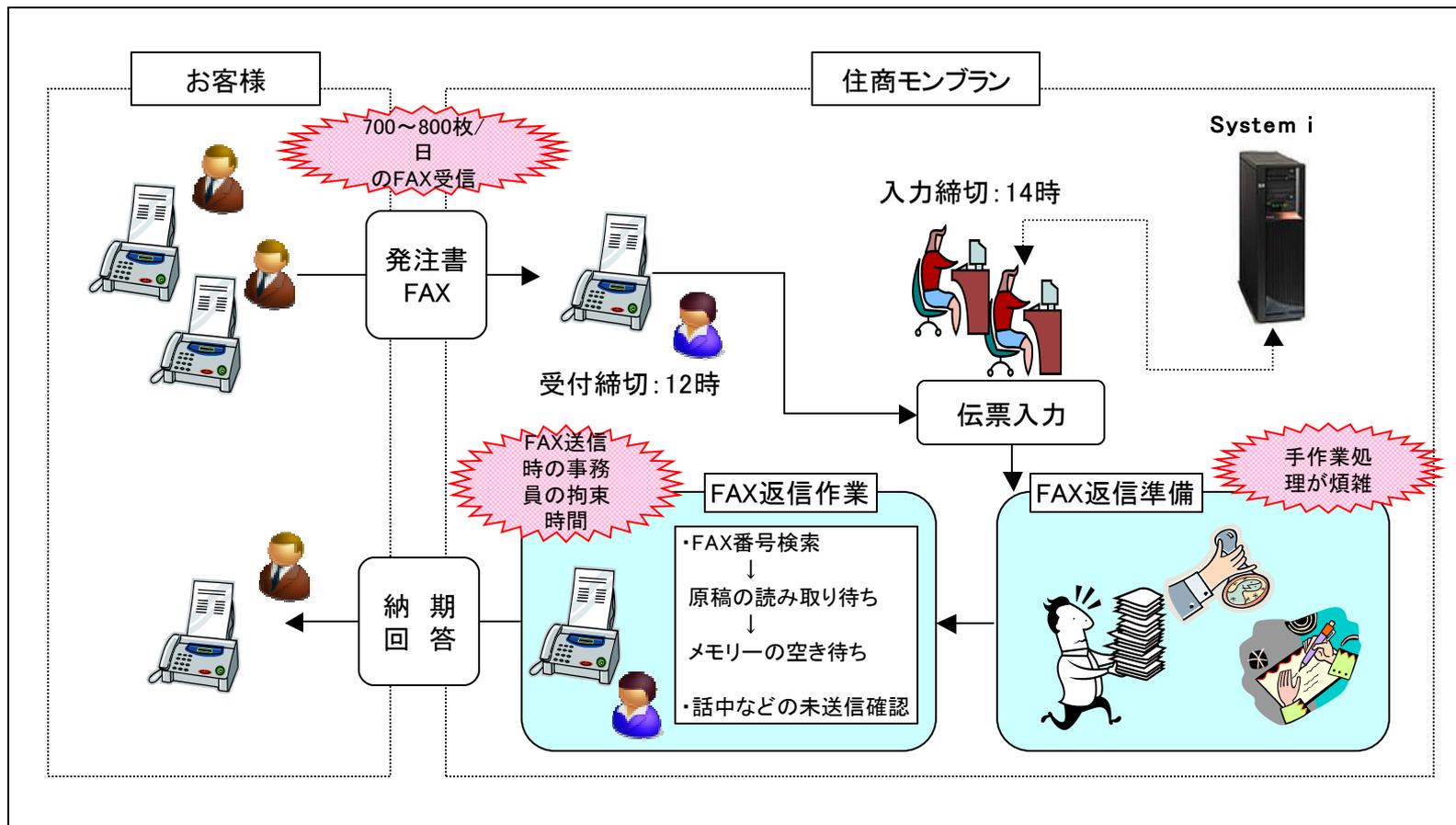
- System i のデータをExcelへダウンロードする作業をやめ、リアルタイムなデータ確認が可能
- データの二重入力解消
- 担当者の勘と経験に頼っていた生産計画立案を平準化
- 作業時間の短縮により、余力を他の業務に振り向ける
- 各工場の負荷状況を把握し、負荷を分散

2) 「自動FAX送信システム」について

Delphi/400

Technical Seminar

① システム導入前



② 手作業による問題点

■ FAX受注後の煩雑な処理

- 700～800枚/日のFAX受注による日々の作業工数
 - ・ FAX返信準備作業 0.5人/日
 - ・ FAX返信完了までの作業 2.5人/日

■ 入力間違い発見の遅れ

- 納入商品間違いの場合、お客様へ納品時に発見
- 間違った商品の返品は着払い→運賃が3倍かかる
(元払い→着払い→元払い)

③ 要望

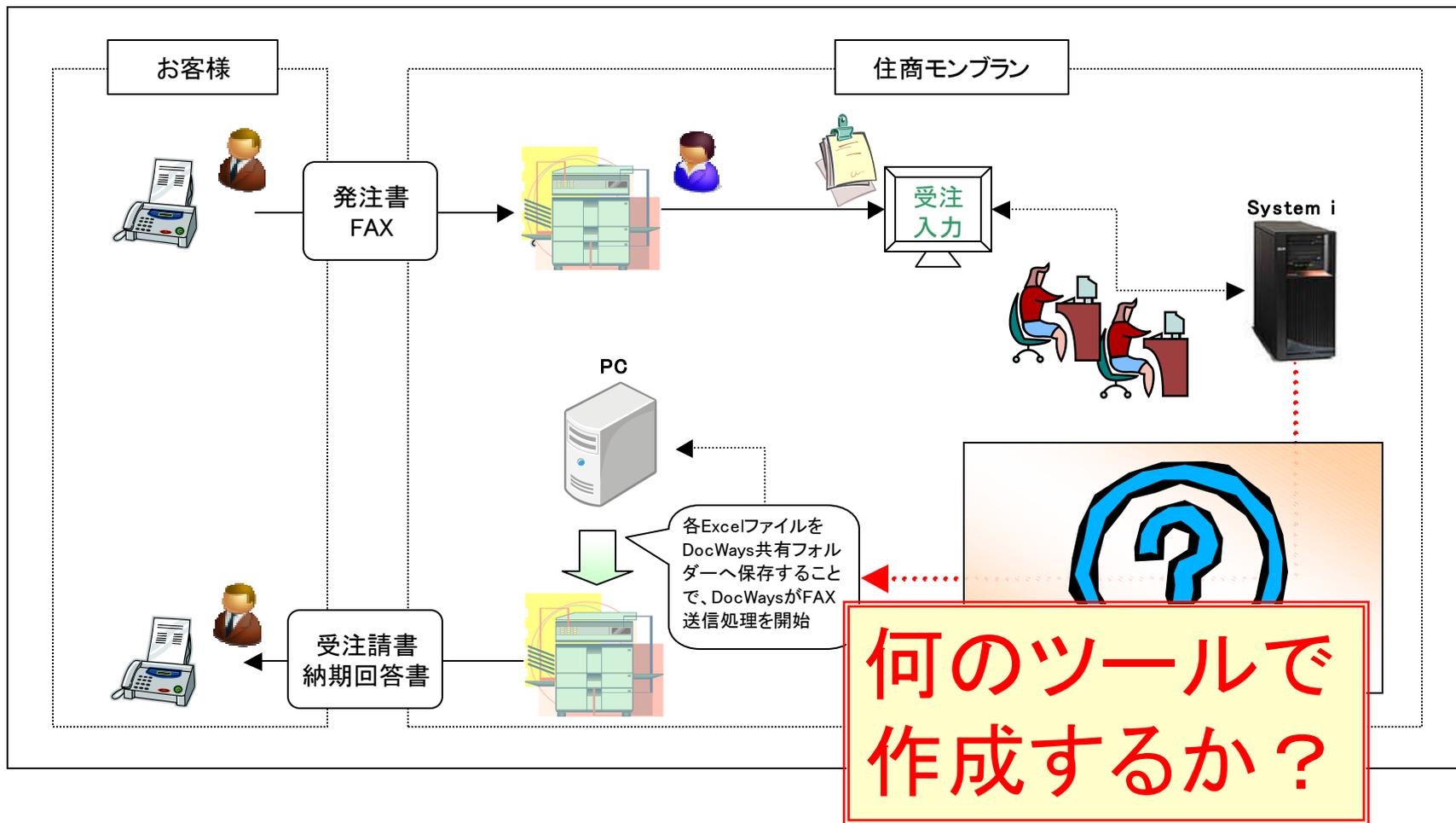
■ 入力内容の早期確認

- お客様からの注文を自社システムに入力した結果を受注請書として返信することにより、入力ミスをお客様自身で早期に発見してもらえないか？

■ 自動でFAXして欲しい

- FAXは全て複合機→ネットワークに接続されている
- システム入力内容を自動で現行のリソースを活用してFAX送信する何か良いツールはないか？

④ 問題点解決の方法



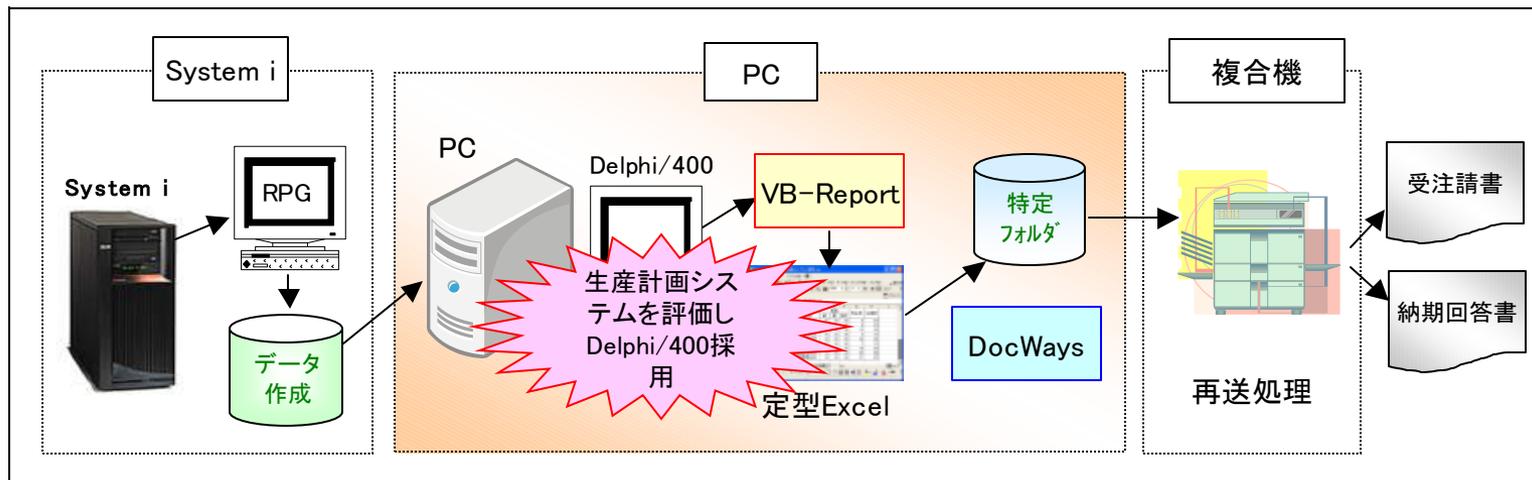
⑤ Delphi/400選択の理由

■ 必要要件

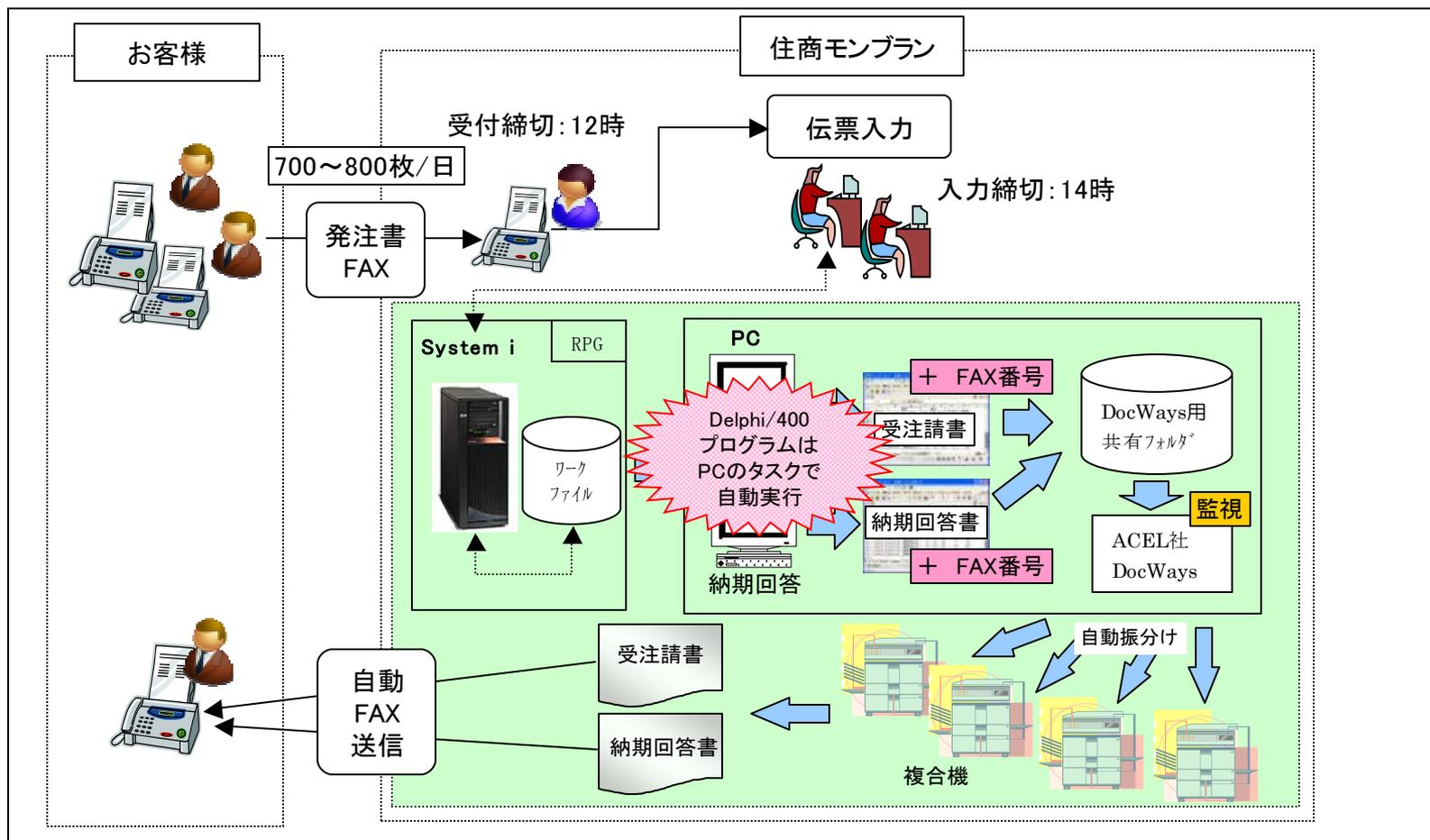
- System i の対象データを、定型フォーマットのExcelファイルにセットし、送信先のFax番号と一緒に、DocWaysで使用可能な特定フォルダに送ること

■ Delphi/400での実現

- Delphi/400から標準機能でExcel出力が可能
- VB-Reportを使用することによって、更に簡単にExcel連携が可能に



⑥ システム構成



⑦ システム化の効果

■ 社内

- 入力間違いの早期発見
- 返信作業の工数削減
- 話中による未送信の対応も柔軟に
- 既存リソースの有効活用
- FAXサーバーの導入が不要
→ ライセンスフィーが発生しない



無駄を徹底的に排除した合理的なシステム設計

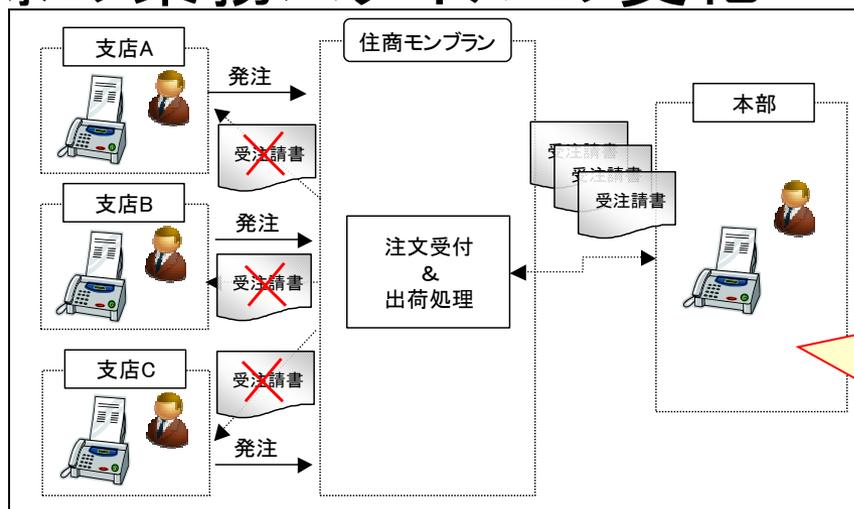
⑦ システム化の効果

■ 社外

● 受注請書の送信による信頼度UP

- ・ 発注商品に間違いがないかを商品発送前に確認
- ・ 納品日を連絡することで、お客様で行う次の作業もスムーズに

● お客様の業務スタイルの変化



お客様各支店
からの発注情報は
お客様の本部へ返
信する 等

3) Delphi/400での開発ポイント

- エンドユーザーを巻き込んだ開発スタイル
 - Excel業務をExcelライクなシステムへ移行
 - 画面を見ながらの打ち合わせが可能
 - 打ち合わせ時に変更が可能な為、打ち合わせ終了時に画面の設計も完了
 - 開発スピードが速い



- 現場に「自分が作っている感」が芽生えてくる
- エンドユーザーに業務改善意欲が沸いてくる

4) 今後の展望

Excelを使った業務



システム化

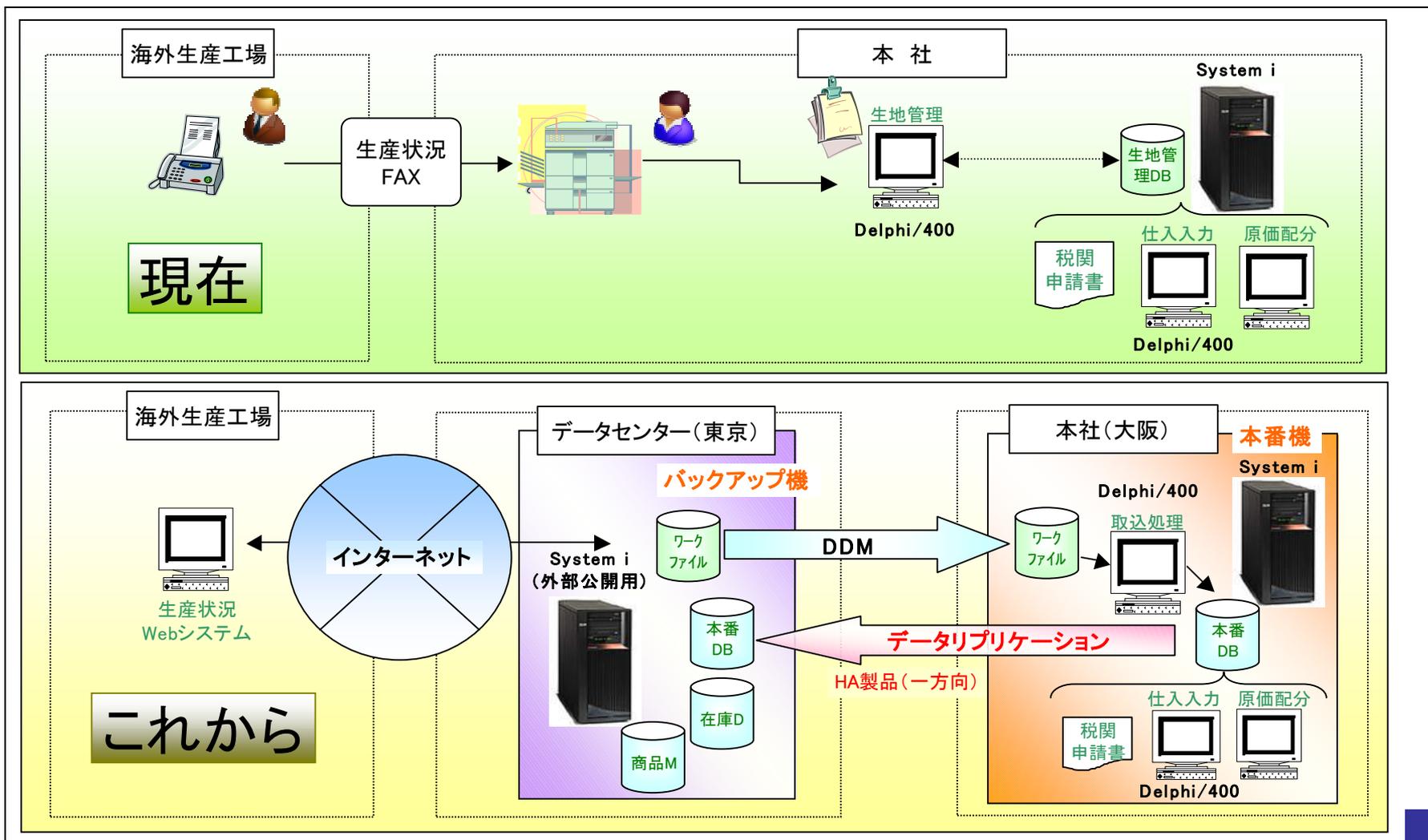
~~内部統制~~



- 基幹との連携をリアルタイムに実現
- 現場の仕事の流れを変えずにシステム化が可能

Delphi/400

Technical Seminar



ご静聴ありがとうございました